

# 仕 様 書

## 1. 購入機器及び数量

ICP 発光分光分析装置 (ICP-OES) 一式

## 2. 納入期日

令和 5 年 2 月 28 日

## 3. 機器の構成及び数量

(1) ICP 発光分光分析装置本体 一式

(2) 制御用パソコン 一式

## 4. 機器の性能等

(1) ICP 発光分光分析装置本体 一式

- ① 装置本体の横幅が 65 cm 以内かつ奥行きが 76 cm 以内に収まること。
- ② フラットプレートによりプラズマを発生させる方式であること。
- ③ プラズマガスとしてアルゴンガス 8 L/min で分析が可能であること。
- ④ 検出器は CCD であること。
- ⑤ 測定波長範囲は 165-900 nm をカバーしていること。
- ⑥ リンス時間を自動的に最適化する機能があること。
- ⑦ ソフトウェア上でプラズマの状態をモニターする機能があること。
- ⑧ セシウムの検出下限値は 5ppb 以下であること。
- ⑨ プラズマ先端部はエアカッターで除去する方式であること。
- ⑩ 50 mL デジチューブ 60 検体以上測定可能なオートサンプラーであること。
- ⑪ アルゴンガス接続のための枝管がない縦型のストレートトーチであること。
- ⑫ アキシタルおよびラジアルの両軸測光方式であること。
- ⑬ 自動で最適なバックグラウンド補正を行う機能があること。
- ⑭ リアルタイム波長校正機能を有していること。
- ⑮ 分解型トーチであること。
- ⑯ メンテナンスが容易なカセット式トーチマウントであること。

(2) 制御用パソコン 一式

- ① Windows 10 日本語に対応していること。
- ② Microsoft office Home & Business 2021 がインストール済みであること。

参考機種例：パーキンエルマー社製 Avio220Max

## 5. 設置に伴う工事

当研究所が準備、整備した設置環境以外に必要な場合は受注者が負担すること。

## 6. 納入場所

大阪府羽曳野市尺度 442

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

実験棟 2 階 農業環境機器分析室

(2 階へのエレベーター有り)

## 7. 担当者

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

食と農の研究部 園芸グループ

TEL 072-979-7036

## 8. その他

- (1) 機器の搬入、据え付け及びそれに伴う工事を行うにあたっては、事前にスケジュール調整のうえ、担当職員の指示に従い行うこと。
- (2) 納品後、据付調整を行い、担当職員の立会いのもと仕様書通り正常に稼働できることを確認する。異常が認められた場合は、納入者の負担で速やかに機器の改善又は部品の交換を行い、調整を行うこと。検査方法等については、担当職員の指示に従うものとする。
- (3) 納入時、メーカーによる検査合格書をつけること
- (4) 当該機器の構造、操作方法及びメンテナンスについて、大阪府立環境農林水産総合研究所職員に対して必要な研修を行うこと。また、操作マニュアル（日本語版）を電子媒体あるいは冊子で提供すること。
- (5) 納品後 1 年間は、無償保証期間とすること。それ以降についても、設置当初の装置の不具合に起因するものについては、無償で対応すること。
- (6) 当該機器の部品供給と修理については、納入後 10 年以上対応すること。
- (7) 当該機器について、メーカー等によるアフターサービス、メンテナンス体制が整備されていること。速やかにサポートを受けられる体制があり、専任技術者が数日以内に修理対応すること。
- (8) 納品にあたっての運搬、据付、配線、調整、検査及び研修に要する費用は全て納入者の負担とする。
- (9) 納品等において、建物等へ損傷を与えた場合は、納入者の負担において現状に戻すものとする。
- (10) 納品に際して発生したごみ等に関しては、納入者が処理、清掃を行うこと。
- (11) 納入において車両を使用する場合は、大阪府生活環境の保全等に関する条例第 40 条の 15 に規定する車種規制適合車等の使用義務を遵守すること。
- (12) 納品作業時間帯は平日午前 9 時から午後 5 時 30 分までとする。
- (13) 当研究所正門前道路に通行区分時間帯設定（午前 7 時 30 分から午前 9 時は通行禁止）があるため、これを遵守すること。なお、大型貨物自動車等については終日通行規制がかかっているため、運行が必要な場合は警察で許可を取ること。
- (14) その他、本仕様に定めのない事項で疑義が生じたときは、担当職員と協議し、その指示によること。